

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		中山間総合整備		路河川名等	-				
事業毎の通番		1	市町村名	飯綱町	箇所名(ふりがな)	飯綱(いづな)			
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	2-1 ② 稼ぐ力とブランド力の向上 2-2 ② 地域内経済循環の推進 3-1 ① 地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進			SDGsの関連目標				
	関連する計画や重点施策	長野県食と農業農村振興計画 長野県農業農村整備計画			関連する事業プロジェクト	輝く農山村地域創造プロジェクト			
	現状と課題	本地区は、飯綱山の麓で昼夜の寒暖差が大きい農業に適した地域であり、高い品質の米や国内シェア1%を占めるリンゴが有名である。しかし、農地は、過去のほ場整備から30年以上が経過しており、急勾配な畦畔、水路の老朽化、未舗装の農道などにより、営農や維持管理に苦慮している。また、既存の直売加工施設は、現況もりんごを中心に需要が高く、加工販売・イベント等において、施設規模が不足している状況である。							
	事業目的	基盤整備による生産力の強化、施設整備による加工販売力の強化や農業の担い手確保に向けた研修施設の整備を実施し、飯綱町の掲げるりんごを核とした活性化構想を実現する。							
着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)	2030年度(令和12年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容	ほ場整備工 A=15.9ha 農道工 L=2,483m 農産物処理加工施設 N=1箇所 研修・販売促進施設 N=1箇所				1,547,000	850,850	201,110	445,000	50,040
事業概要									
	ほ場整備(高坂工区)			農村振興環境整備(三本松工区)			農道(倉井工区)		
	 ほ場整備にて維持管理の省力化。水田の一部を畑地化し、りんごの生産拡大を図る。			 三本松農業拠点エリア(現況:直売加工施設)の拡充、機能強化を図る。 ・農作物処理加工施設:エポート、シェード、スマートフレッシュ、リンゴレーザー加工場の整備。 ・研修・販売促進施設:加工品の販売。新規就農希望者に技術指導、担い手の育成。			 りんご生産量の高い優良農地内の未舗装道路を整備。高品質な出荷が可能となる。		
	高坂工区			三本松工区			倉井工区		
事業効果	主な受益対象	高坂工区 A=15.9ha(水稲、りんご) 倉井工区 A=24.7ha(りんご)							
	期待される効果	水稲からりんごへの転換による農業生産額の増 地域の未利用資源(りんご残渣)を活用した循環型農業の創出 新規就農者の確保・育成、町農産物の販売力の強化				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.4		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	本地区で整備された農地は、担い手(農業振興公社等)に集積され、将来にわたり営農が継続される見込みである。また、整備された研修施設によって、新規就農者の確保に向けた取組が継続して実施される。							
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	高坂工区:R1.5 水路改修等の要望あり(以降毎年要望) 倉井工区:R3.8 舗装改良の要望あり							
	事業説明等の経緯	高坂工区:R5.2、R5.3、R5.6、R5.11 地元説明会実施 倉井工区:R5.4、R5.9 地元説明会実施							
評価結果	農政部公共事業評価委員会の意見	本地区は、ほ場整備や農道整備により農作物の生産拡大、営農の省力化が図られる。また、新規就農者への研修施設も複合した直売加工施設も整備することで、基盤整備による生産力強化だけでなく、施設整備による加工販売力強化、農業の担い手確保など、地域の活性化が図られることから、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価※	優先度評価※	
	長野県公共事業評価委員会の意見	農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。					○	4.3	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	県の評価案が妥当		評価の決定	事業着手		

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)